

報道機関各位

令和7年8月7日

「ふつうの日になったのか 原爆の日」展 戦後 80 年スペシャルプログラム 高校生が描いたヒロシマ「原爆の絵」の制作者に よるトークイベント～平和への思い～

市は、「8月6日と8月9日、原爆の日を忘れないための一行のコトバ」を9月3日(水)まで募集しています。関連企画として、トークイベントを開催します。

現代の高校生が、絵の制作を通して被爆者の思いを受け継ぎ、平和の尊さについて考える企画である「広島市立基町高等学校の生徒と被爆者との共同制作による原爆の絵」。絵を制作した同校卒業生の持田杏樹さんにお話を伺います。

このことを広く周知したく、ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方、お願いいたします。

概要

■日時 8月13日(水)午後0時40分～1時50分

■場所 くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール（国立市富士見台 4-17-65）

■プログラム ▶午後0時40分～ :絵本の読み聞かせ
▶午後1時～ :講演 “平和への思い”

■詳細は、添付資料をご覧ください。



▲「原爆の絵」制作風景、提供：広島市立基町高等学校。

問い合わせ

国立市 政策経営部 市長室 平和・人権・ダイバーシティ推進係
TEL042-576-2111 内線（219）

「ふつうの日になったのか 原爆の日」展
戦後80年スペシャルプログラム

高校生が描いたヒロシマ 「原爆の絵」の制作者による トークイベント ～平和への願い～

申込
不要

費用
無料

絵の制作を通して高校生が被爆者の思いを受け継ぎ、平和の尊さについて考える、広島市立基町高等学校の「原爆の絵プロジェクト」。絵を制作した同校卒業生にお話を伺います。



8月13日 水

12:40~13:50

矢川プラス

みんなのホール

国立市富士見台4-17-65 (JR南武線矢川駅北口徒歩4分)

■広島市立基町高等学校の生徒と被爆者の共同制作による「原爆の絵」より
「突然降り始めた「黒い雨」にはしゃぐ子供たち～それが放射線物質を含んだ危険な雨とは知らず」
持田 杏樹 作/広島平和記念資料館 所蔵

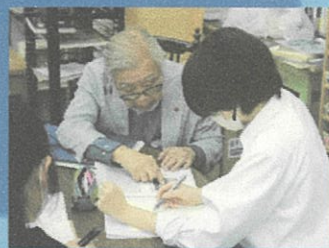
◆◆◆プログラム◆◆◆ (途中入退場可)

12:40~12:55 絵本の読み聞かせ

◎『さよならジャンボ』 やなせたかし/作・絵 フレーベル館 ほか
中央図書館読み聞かせボランティア

13:00~13:50 講演 “平和への願い”

◎持田 杏樹さん
(広島市立基町高等学校普通科創造表現コース卒業生)



提供：広島市立基町高等学校

◆同じ会場で11:45~12:30に開催する“クラシックライブPLUS×国立市「平和を願うプログラム」”
にもぜひお越しください◆

【問い合わせ】国立市 政策経営部 市長室 平和・人権・ダイバーシティ推進係

電話：042-576-2111 (内線229・256) / ファクス：042-576-0264

メール：sec_diversity@city.kunitachi.lg.jp

主催：「ふつうの日になったのか 原爆の日」展実行委員会、国立市



市HP